

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	420	担当課等	社会教育課								
事務事業名	音楽会開催事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P130 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	4 生涯学習	(1) 生涯学習推進体 制の整備	(2) 自主的な文化活動の 活性化
関連する個別計画					
目的	町民の音楽に対する意識の高揚と、町民同士の交流を図る。				
対象	町民				
内容	合唱や演奏などの活動を行うサークルの発表の場として、また、プロによる音楽を鑑賞する場として年に各1回ずつ開催する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
コスト	事業費	387,499	378,010	391,000		
	人件費	常勤職員	329,950	313,540	308,420	
		非常勤職員等	14,560	14,560	14,560	
		人件費合計	344,510	328,100	322,980	
	総事業費	732,009	706,110	713,980		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	732,009	706,110	713,980		
財源合計	732,009	706,110	713,980			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
音楽会開催日数	交流の機会設定	日	2	2	2	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
参加者数	音楽による交流人数	人	293	310	350	

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 実行委員会の組織づくりや事業の運営、PRをするにあたり町の支援が必須である。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B 参加人数についてPRの強化により増やす余地があると思われる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A 参加団体による活発な議論を経て決定、運営がされており、音楽に対する意識高揚が達成されている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B 参加団体を増やし交流効果を高めることが課題である。

平成27年度までの改善点	従来同日に開催していたプロの部とサークル(一般)の部を、それぞれ1日の開催とした。
--------------	---

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	サークルの部の参加団体につき、ジャンルを問わず広く参加できるようPRを図る。
平成29年度以降の方向性	実行委員会による運営の推進と、音楽祭への参加者の募集及び観覧者の増加。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	サークルの部において、音楽活動を行う団体の発表の場として継続が必要だが、参加者の減少に対する対応が課題である。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	421	担当課等	社会教育課								
事務事業名	文化祭開催事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P130 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	4 生涯学習	(1) 生涯学習推進体 制の整備	(2) 自主的な文化活動の 活性化
関連する個別計画					
目的	芸術・文化各方面で活動している各種文化団体を中心とした各団体に、日頃の成果を発表する場を設けることにより、団体間の交流を深めることや、町の文化の振興・発展を図る。				
対象	各種文化団体等				
内容	毎年10月～11月の2か月間、図書館や観光会館などを会場として、各団体の活動の発表の場を提供する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
コスト	事業費	447,622	417,211	458,000		
	人件費	常勤職員	151,777	175,582	141,873	
		非常勤職員等	21,840	21,840	21,840	
		人件費合計	173,617	197,422	163,713	
	総事業費	621,239	614,633	621,713		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	621,239	614,633	621,713		
財源合計	621,239	614,633	621,713			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
文化祭実行委員会議回数	文化祭の立案、実施	回	3	4	3	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
参加団体数	団体間の交流促進	件	16	16	15	

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 本町は文化の香り高いまちを目指しており、積極的な支援が必要。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A 多くの参加団体の活発な発表等による文化の発展、振興が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B 参加団体の発表機会として町民の文化意識向上に大きく寄与している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 参加団体の呼びかけ広く全町に周知PRしている。

平成27年度までの改善点	なし
--------------	----

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	なし
平成29年度以降の方向性	新たな参加団体の発掘に力を注ぎ、若い世代を含めた本町の特色のある文化振興をめざし事業を継続する。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	今後も、町の文化の振興を推進し、水準を高めていく。
------	----------	---------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	422	担当課等	社会教育課								
事務事業名	家庭教育学級開催事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P122 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	1 家庭教育	(1) 家庭の教育力の 向上	① 学習機会の充実
関連する個別計画					
目的	社会の変化とともに、家族や子供を取り巻く環境が様々に変容する中、家庭教育のあり方やこれからの時代を生きる子供達の子育てについて理解を深め、各家庭の教育力を高める。				
対象	保育園児、幼稚園児、小学生及び中学生の保護者				
内容	家庭教育に係る講義等を年4回開催するもの。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
コスト	事業費	130,000	140,000	169,000		
	人件費	常勤職員	181,472	172,447	169,631	
		非常勤職員等	36,400	36,400	36,400	
		人件費合計	217,872	208,847	206,031	
	総事業費	347,872	348,847	375,031		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	347,872	348,847	375,031		
財源合計	347,872	348,847	375,031			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
実施回数	参加機会の提供	回	4	4	4	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
参加人数	子育ての理解を高める	人	273	302	300	

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	A	生涯学習の一環として家庭教育について学ぶ機会の設定が重要である。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B	費用に見合った参加人数で開催されている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	専門知識をもつ講師の選定により幅広い知識の習得ができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	各学校や保育園、幼稚園を通じて参加の募集を行っている。

平成27年度までの改善点	なし
--------------	----

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	なし
平成29年度以降の方向性	エプロンママによる託児を継続し、参加しやすい環境を整える。 少子化の進展など社会情勢の変化に伴う新たなニーズに対応した事業内容を検討する。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	家庭教育は教育の出発点であり、少子化対策としても今後も家庭教育を推進していく。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	423	担当課等	社会教育課								
事務事業名	国際理解講座開催事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	7	07	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P139 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	Ⅲ 多文化共生社会 の実現	1 国際理解	(1) 国際理解の推進	② 国際理解講座の開催
関連する個別計画					
目的	国際化時代を迎えている昨今において、町民等が真の国際人としての見識を広め、国際理解を図る。				
対象	町民等				
内容	英会話講座や国際理解講座をゆがわら国際交流協会への委託により開催する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
コスト	事業費	120,000	120,000	120,000		
	人件費	常勤職員	32,995	31,354	30,842	
		非常勤職員等				
		人件費合計	32,995	31,354	30,842	
	総事業費	152,995	151,354	150,842		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	152,995	151,354	150,842		
財源合計	152,995	151,354	150,842			
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
講座開催回数		国際理解の機会確保	回	8	8	8
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
講座参加者数		国際理解の機会確保	人	15	13	20

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	B ゆがわら町民憲章において、国際的視野をもつ人材の育成をうたっており重要な事業である。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A 委託先団体は専門知識や豊富な経験を有し安価で実施されている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	C 生活に必要な日本語、外国語の習得により国際理解が高められる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	C 広報ゆがわらへの記事掲載により広く募集をしている。

平成27年度までの改善点	なし
--------------	----

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	なし
平成29年度以降の方向性	今後のグローバル化の進展が予測される中で継続し実施したい。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(見直し)	地域政策課の行うグローバル人材育成事業と重複しないように、事業の棲み分けを行う。
------	---------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	廃止・中止	グローバル人材育成事業へ統合
------	-------	----------------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	424	担当課等	社会教育課								
事務事業名	子育て学級開催事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	1 家庭教育	(1) 家庭の教育力の 向上	① 学習機会の充実
関連する個別計画					
目的	乳幼児期の子育てについて保護者が理解を深めることで、子育て中の不安や 悩みを軽減し、安心してのびのびと子育てができるようにする。				
対象	0歳児から就園前の幼児の保護者				
内容	子育てに関する様々な課題をテーマに、年4回、講演等を開催する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成26年度(決算)		平成27年度(決算)		平成28年度(見込)	
	事業費	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
コスト 人件費	常勤職員	32,995	31,354	31,354	30,842	30,842
	非常勤職員等					
	人件費合計	32,995	31,354	31,354	30,842	30,842
総事業費	72,995	71,354	71,354	70,842	70,842	70,842
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	72,995	71,354	71,354	70,842	70,842
財源合計	72,995	71,354	71,354	70,842	70,842	70,842
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
開催回数	参加機会の提供	回	4	4	4	4
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
参加者数	子育ての理解を高める	人	80	33	80	80

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 生涯学習の一環として家庭教育について学ぶ機会の設定が重要である。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A 費用に見合った参加人数で開催されている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B 専門知識をもつ講師の選定により幅広い知識の習得ができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 各学校や保育園、幼稚園に依頼し参加募集を行っている。

平成27年度までの改善点	なし
--------------	----

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	
平成29年度以降の方向性	エプロンママによる託児を継続し、受講生が参加しやすい環境を整える。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	核家族化が進む中、若い母親等をサポートするため、ますます重要なテーマとなっている。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	426	担当課等	社会教育課								
事務事業名	自然科学・歴史文化探訪事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P130 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	4 生涯学習	(2) 生涯学習内容の 充実	① 多様なライフスタイル に対応した学習プログ ラムの作成
関連する個別計画					
目的	郷土の豊かな自然や文化財に興味や関心を持ち、自然を大切にすることを通して人を愛する心を育む。				
対象	町民				
内容	各種観察会(ツバメや野鳥、海のプランクトン、川の生物)、天体観測、地域の歴史と文化施設などの訪ね歩きの実施。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
コスト	事業費	36,754	35,696	61,000		
	人件費	常勤職員	16,497	15,677	15,421	
		非常勤職員等	88,156	88,156	88,156	
		人件費合計	104,653	103,833	103,577	
	総事業費	141,407	139,529	164,577		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	3,000	2,700	6,000		
	一般財源	138,407	136,829	158,577		
財源合計	141,407	139,529	164,577			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
開催回数	参加機会の確保	回	5	5	5	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
参加者数	学習機会の提供	人	53	93	100	

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)		
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A 多様な生涯学習に対応し、興味を持ってもらうための講座として必要である。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B 費用に見合った参加人数で開催されている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	B 専門知識をもつ講師の選定により幅広い知識の習得ができる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B 地方紙や町広報誌のほか、町内学校での事業広報により参加募集を行っている。

平成27年度までの改善点	なし
--------------	----

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	なし
平成29年度以降の方向性	サークル活動の延長線上にある催事と異なり、多様な生涯学習の機会を提供する。 また、一部の講座について、より充実した内容とし参加者の増加を図るため講師謝礼の見直しを図りたい。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	色々な講座に接する機会を与えることで、支持を得ている。講師の謝礼見直しについて検討の必要がある。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	427	担当課等	社会教育課								
事務事業名	生涯学習推進員養成事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	4 生涯学習	(1) 生涯学習推進体 制の整備	(5) 社会教育団体と指導 者の育成
関連する個別計画					
目的	町の生涯学習を推進するリーダーを養成し、地域会館の活用や地域に根差した生涯学習の推進を図る。				
対象	湯河原町生涯学習推進員				
内容	生涯学習推進委員を対象とした研修講座等を開催する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
コスト	事業費	50,000	40,000	55,000		
	人件費	常勤職員	32,995	31,354	30,842	
		非常勤職員等				
		人件費合計	32,995	31,354	30,842	
	総事業費	82,995	71,354	85,842		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	82,995	71,354	85,842		
財源合計	82,995	71,354	85,842			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
研修開催回数	研修機会の提供	回	0	1	1	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
参加者数	交流・学習機会の提供	人	0	9	9	

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 地域会館活用事業において中心的な役割を担う生涯学習推進員の養成のため必要である。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B 各自担当会館において、年間4回程度開催されている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B 研修で得た知識をもとに、担当区域においてその知識を活用している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B 地域会館活用事業を行う地域実践委員会の構成員により選出された委員を対象としている。

平成27年度までの改善点	なし
--------------	----

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	なし
平成29年度以降の方向性	地域会館を活用した事業を中心に、さらに自立を促すための支援を継続していく。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	生涯を通じ、学び、高め合うことは、町のテーマでもあり、その推進を図る上で人材の育成は必要不可欠である。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	428	担当課等	社会教育課								
事務事業名	保育グループ育成事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P122 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	1 家庭教育	(1) 家庭の教育力の 向上	① 学習機会の充実
関連する個別計画					
目的	研修会の受講や町主催事業参加者の子供の預りを行う。保育グループ「エプロンママ」の会員の資質向上を図る。				
対象	保育グループ「エプロンママ」会員				
内容	町主催事業参加者の子供の預りの委託及び会員の資質向上を目的とした研修会等の開催。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成26年度(決算)		平成27年度(決算)		平成28年度(見込)	
	事業費	84,660	78,600	92,000		
コスト 人件費	常勤職員	65,990	62,708	61,684		
	非常勤職員等					
	人件費合計	65,990	62,708	61,684		
総事業費	150,650	141,308	153,684			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	150,650	141,308	153,684		
財源合計	150,650	141,308	153,684			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
託児受付回数	託児による学習機会の提供	回	14	15	15	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
託児利用人数	受講者による利用	人	111	74	100	

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 生涯学習や家庭教育、子育て教育学習の推進において、託児の必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B 託児を行うことにより、申込者が安心して受講できる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A 託児のほか、研修会により自らのスキルを向上させることも必要。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B 年々会員数の減少が目立つため、会員の充足が急務。

平成27年度までの改善点	なし
--------------	----

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	申込者が、断りもなく託児を欠席することが多くなってきたので、申込時に口頭で伝えることとした。
平成29年度以降の方向性	生涯学習、家庭教育の推進において必要なため継続したい。 会員の高齢化が目立つため、新たな会員の募集育成によりニーズに対応できる人員確保に努める。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	小さい子供を持つ親が受講できるようにするために需要が高い。
------	----------	-------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	433	担当課等	社会教育課								
事務事業名	地域会館活用事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P130 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	4 生涯学習	(2) 生涯学習内容の 充実	(1) 多様なライフスタイル に対応した学習プログ ラムの作成
関連する個別計画					
目的	地域会館(門川・文化福祉・川堀)を活用して、地域に根ざした生涯学習の充実を図り、生涯学習の推進に努めるとともに、町民の自主的、主体的な学習活動を側面から支援する。				
対象	町民				
内容	各地域会館の担当委員会において各種事業(各種プレゼント作り、体験教室、うどん・そば打ち等)の企画、運営を行っている。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成26年度(決算)		平成27年度(決算)		平成28年度(見込)	
	事業費	210,000	210,000	210,000	210,000	210,000
コスト 人件費	常勤職員	32,995	31,354	30,842	30,842	
	非常勤職員等	10,010	10,010	10,010	10,010	
	人件費合計	43,005	41,364	40,852	40,852	
総事業費	253,005	251,364	250,852	250,852		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	253,005	251,364	250,852	250,852	
財源合計	253,005	251,364	250,852	250,852		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
事業開催数	地域の自主的な実施	回	14	13	14	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
事業参加者数	地域の自主的な実施	人	175	196	170	

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 身近な地域会館を活用し年齢を問わず文化を学び楽しむ機会づくりが必要である。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B 費用に見合った地域会館の活用がなされている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A 3つの地域ごとに学びのテーマを定め実施されている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 3つの地域会館で開催しており、宮下方面に当該組織がないが、参加にあたっては、どの会館でも分け隔てなく受講できる。
平成27年度までの改善点	なし	

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	なし
平成29年度以降の方向性	事業名に固いイメージがあるので、誰もが遊びながら学べる事業との意味合いから事業名について「遊びと学び推進事業」に変更したい。 また、講座等への参加者の募集に当たっては、誰でも、どの講座にも参加できることをPRしていく。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	地域会館を活用し、様々なテーマで学ぶ機会を設けている。今後は、居住地域に係わらず参加できることを、さらにPRしていきたい。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)	事業名の工夫が必要。
------	---------	------------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	1129	担当課等	社会教育課								
事務事業名	親子陶芸教室開催事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P121 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	4 生涯学習	(2) 生涯学習内容の 充実	① 多様なライフスタイル に対応した学習プログ ラムの作成
関連する個別計画					
目的	陶芸を通して、親子がふれあいを深めながら、ものを作る楽しさを体験する。				
対象	町民				
内容	町内の施設において、陶芸師を講師に陶芸作品を制作する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成26年度(決算)		平成27年度(決算)		平成28年度(見込)	
	事業費	71,035	85,224	99,000		
コスト 人件費	常勤職員	32,995	31,354	30,842		
	非常勤職員等	9,100	9,100	9,100		
	人件費合計	42,095	40,454	39,942		
総事業費	113,130	125,678	138,942			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	70,000	84,000	96,000		
	一般財源	43,130	41,678	42,942		
財源合計	113,130	125,678	138,942			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
開催回数	参加の容易さ	回	5	6	6	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
参加者数	参加者数把握	人	35	43	48	

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 複数の親子が一堂に会し、同じ作業を行うことで、親子同士だけでなく、参加者相互のコミュニケーションを図ることができる。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A 参加者から参加費を徴取しているため、町費の負担は少額にもかかわらず、参加者は事業に満足している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A 定員を超える参加申込みがある。参加者は皆、楽しみながら親子のコミュニケーションをとっており、事業目的に沿った効果が得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 町広報や小・中学校にチラシを配布するなど周知を図り、広く参加者を募っている。

平成27年度までの改善点	開催回数、募集人数を増やした。
--------------	-----------------

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	なし
平成29年度以降の方向性	参加希望者のニーズを把握し、開催回数、募集人数、事業内容について見直しの検討を行う。また、民間でも同様の教室があるのでその点も考慮しなければならない。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	親子の共同作業でコミュニケーションが図れ、人気の高い事業となっている。
------	----------	-------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	438	担当課等	社会教育課								
事務事業名	成人のつどい開催事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P135 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	6 青少年健全育成	(1) 家庭・地域・学校 の連携	(2) 青少年育成体験活動 の推進
関連する個別計画					
目的	成人としての自覚と責任、さらに郷土を愛する心を培う。				
対象	新成人				
内容	新成人の中から実行委員を募集し、実行委員会として、自主的かつ有意義な内容のつどいを企画・運営する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成26年度(決算)		平成27年度(決算)		平成28年度(見込)	
	事業費	345,967	384,233	712,000		
コスト 人件費	常勤職員	115,482	109,739	107,947		
	非常勤職員等	45,500	45,500	45,500		
	人件費合計	160,982	155,239	153,447		
総事業費	506,949	539,472	865,447			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	506,949	539,472	865,447		
財源合計	506,949	539,472	865,447			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
開催回数	年1回の開催	回	1	1	1	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
出席率	登録者に対する出席率	%	65	72	70	

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 新成人による実行委員会の立ち上げから町が関わり、運営に必要な財源の確保は実行委員会だけでは困難である。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A 平成27年度の出席者一人当たりの費用は2,000円程度であり、費用対効果に優れている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B 出席率は登録者の6～7割にとどまっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 住民登録のある新成人全員に案内するほか、申し出のあった登録外の新成人も受け入れている。

平成27年度までの改善点	なし
--------------	----

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	式典参加者に対して記念として「冠婚葬祭マナー」の本を贈呈する。
平成29年度以降の方向性	新成人となる世代は減少傾向にあるので、出席率の維持を保ちたい。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	人生の一つの節目として、広く住民に浸透した行事で歴史もあることから、今後も継続していく。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	439	担当課等	社会教育課								
事務事業名	青少年健全育成地域活動推進事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P135 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 青少年健全育成	6 青少年健全育成	(1) 家庭・地域・学校 の連携	① 青少年健全育成関係 団体の支援
関連する個別計画					
目的	地域における子供と大人のふれあいを図り、互いの連帯感を培う。				
対象	各地区明るい青少年を育てる会(5地区)及び各地区母親クラブ(2地区)				
内容	地域活動を推進・支援するため、5地区の明るい青少年を育てる会及び2地区の母親クラブの団体運営に対して助成を行う。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成26年度(決算)		平成27年度(決算)		平成28年度(見込)	
	事業費	240,000	240,000	240,000	240,000	
コスト 人件費	常勤職員	115,482	109,739	109,739	107,947	
	非常勤職員等					
	人件費合計	115,482	109,739	109,739	107,947	
総事業費	355,482	349,739	349,739	347,947		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	355,482	349,739	349,739	347,947	
財源合計	355,482	349,739	349,739	347,947		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
助成交付団体数	関連団体全てを支援	件	7	7	7	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
助成交付団体数	申請団体全てに交付	件	7	7	7	

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)		
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A ゆがわら2011プランの主要施策として明文化している事業である。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B 各団体の総事業費に対する町の助成額は5万円未満であり、事業内容に対する効果は高い。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	B 各地域の特色を生かした様々な青少年健全育成事業の実施に活用されている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 各団体に対し均等な助成となっている。

平成27年度までの改善点	なし
--------------	----

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	なし
平成29年度以降の方向性	各団体の状況を踏まえつつ継続する。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	地域における大人と子どもの交流の場としての活動は重要である。
------	----------	--------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	443	担当課等	社会教育課								
事務事業名	青少年リーダー養成事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P135 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 青少年健全育成	6 青少年健全育成	(2) 地域指導者の育 成・支援	(2) 次世代地域指導者の 養成
関連する個別計画					
目的	ジュニア・リーダー、シニア・リーダーが、子供と育成者のパイプ的な役割を担い、社会に貢献できるリーダーとなるため、必要な各種研修への参加や指導者としての技術・知識の習得を促す。				
対象	湯河原町ジュニアリーダーズクラブ、湯河原町シニアリーダーズクラブ				
内容	地域における青少年リーダー養成のための事業を、湯河原町子ども会育成団体連絡協議会に委託して実施する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
コスト	事業費	50,000	50,000	50,000		
	人件費	常勤職員	32,995	31,354	30,842	
		非常勤職員等				
		人件費合計	32,995	31,354	30,842	
	総事業費	82,995	81,354	80,842		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	82,995	81,354	80,842		
財源合計	82,995	81,354	80,842			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
委託業務執行数	子ども会へ委託実施	件	1	1	1	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
ジュニア、シニアリーダー人数	当該クラブの参加者数	人	11	10	17	

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)		
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A 将来のまちづくりのためにも、青少年リーダーとしての人材育成は町が責任を持って行うべき。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A 委託料に比して各種青少年行事への参加、協力による効果は大きい。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	A ジュニアリーダー、シニアリーダーの登録者数が減少している。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 登録者数が少ないため、人員の確保が急務である。

平成27年度までの改善点	なし
--------------	----

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	なし
平成29年度以降の方向性	将来のまちを担うキーパーソンとなりうる人材育成は必須であるため継続する。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	将来の町づくりに、重要な役割を持つ人材の育成は必要である。
------	----------	-------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	444	担当課等	社会教育課								
事務事業名	青少年地域体験活動支援事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P135 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 青少年健全育成	6 青少年健全育成	(1) 家庭・地域・学校 の連携	(2) 青少年育成体験活動 の推進
関連する個別計画					
目的	自然との共存や生きた総合学習を集団活動を通して学び、また創作芸術活動や体力向上・健康増進を図るスポーツ活動の推進を図るとともに、自然の中で親と子のふれあいを通して、家庭におけるふれあいを促進・支援し、単なる体験学習にとどまらない継続的な学習をとなるよう実施する。				
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湯河原町子ども会育成団体連絡協議会</li> <li>・湯河原町青少年指導員会</li> </ul>				
内容	地域の各団体における各種体験活動を推進・支援するための事業を、関係団体に委託して実施するもの。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
コスト	事業費	515,000	420,000	515,000		
	人件費	常勤職員	115,482	109,739	107,947	
		非常勤職員等				
		人件費合計	115,482	109,739	107,947	
	総事業費	630,482	529,739	622,947		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	630,482	529,739	622,947		
財源合計	630,482	529,739	622,947			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
委託先団体数	幅広い事業を支援する	件	2	2	2	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
主要4事業の参加者数	体験活動の直接効果	人	755	614	700	

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 家庭におけるふれあいの促進、支援を継続的に支援する将来のまちづくり、青少年育成を担う人材育成は町が責任を持って行うべき。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A 参加者1人あたりの費用では890円程度であり、投資対効果は高い。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A 事業実施にあたっては委託先団体の知識や連携を活かすことで多くの青少年の参加を実現している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B 事業実施にあたっては広く町内全域に参加者を呼びかけている。

平成27年度までの改善点	なし
--------------	----

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	なし
平成29年度以降の方向性	今後も参加者の確保策を講じつつ継続して実施する。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	親子や異世代間の触れ合いを、引き続き行っていく。
------	----------	--------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	458	担当課等	社会教育課								
事務事業名	スポーツ振興助成事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	08	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P133 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	5 スポーツ	(2) スポーツ活動の支 援	(1) スポーツ活動の支援
関連する個別計画					
目的	スポーツの優秀選手及び団体の活動を助成し、町民のスポーツの振興を図る。				
対象	町民				
内容	町の社会体育の振興を図るため、県予選を経て関東及び全国大会等に準ずる大会に出場した選手に対し、大会参加に要す経費の一部を助成する。 また、経費のかからない選手については、出場祝い金として支給する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成26年度(決算)		平成27年度(決算)		平成28年度(見込)	
	事業費	115,000	85,000	120,000		
コスト 人件費	常勤職員	97,921	68,777	95,511		
	非常勤職員等					
	人件費合計	97,921	68,777	95,511		
総事業費	212,921	153,777	215,511			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	212,921	153,777	215,511		
財源合計	212,921	153,777	215,511			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
交付件数	交付実績	件	23	17	24	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
出場大会数	町のスポーツ振興の向上	大会	23	17	24	

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 各種大会への参加に当たっては、競技種目、大会開催地等によって必要となる経費が異なるが、その一部を助成することにより、負担の軽減が図られる。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B 助成金の交付は負担の軽減となり、また、選手の励みにもなる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B 出場選手(又は団体)の負担軽減に寄与している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 交付基準を満たしているかいないか審査を行い交付決定する。

平成27年度までの改善点	平成21年度に1大会当たりの個人への助成金額を10,000円から5,000円に減額。 平成22年度に1大会当たりの団体への助成金額を30,000円から10,000円に減額。
--------------	---

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	なし
平成29年度以降の方向性	必要に応じて助成金額の見直しを行う。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	アスリートへの経済的負担の軽減のため必要である。
------	----------	--------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	461	担当課等	社会教育課								
事務事業名	各種大会開催事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	08	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P133 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	5 スポーツ	(2) スポーツ活動の支 援	(3) スポーツ教室、イベ ントの開催
関連する個別計画					
目的	子どもから高齢者まで楽しめるスポーツ大会等を開催し、町民の健康増進、体力の向上、参加者相互のコミュニティ形成等を図る。				
対象	町民				
内容	町が主催する各種スポーツ大会等を各種団体に委託して開催するもの。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
コスト	事業費	404,763	357,200	370,000		
	人件費	常勤職員	1,253,810	1,191,452	1,233,680	
		非常勤職員等				
		人件費合計	1,253,810	1,191,452	1,233,680	
	総事業費	1,658,573	1,548,652	1,603,680		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	94,400	78,800	108,000		
	一般財源	1,564,173	1,469,852	1,495,680		
財源合計	1,658,573	1,548,652	1,603,680			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
開催大会等数	開催実績	回	7	7	8	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
参加者数	町のスポーツ振興の向上	人	633	548	636	

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	B 今後、運営団体自らで企画・運営が可能な大会については、委託事業から独自開催への移行について検討する。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A 町費の負担は、少額であるが、参加者の満足度は高いと感じられる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B 毎年同時期に開催される各大会での成績を目標とするだけでなく、参加することを楽しみにしている町民が多くおり、スポーツ振興以外の効果もあると思われる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 主に町民を対象とした大会等となっており、参加が容易になっている。

平成27年度までの改善点	平成27年度にソフトバレーボール大会からスポーツ推進委員会が普及を図っている競技であるファミリーバドミントン大会に変更した。
--------------	--

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	なし
平成29年度以降の方向性	大会等の参加者数、チーム数の増減を考慮し、大会継続の必要性を検証するとともに、町民のニーズに合わせた新たな大会、レクリエーション等の開催についても検討する。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	自ら企画・運営が可能な競技大会については、自主的な運営について検討する。
------	----------	--------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	463	担当課等	社会教育課							
事務事業名	夏季プール開放事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	08	目	01	事業開始年度	平成 14 年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P133 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	5 スポーツ	(2) スポーツ活動の支 援	(2) スポーツ・レクリエー ションの場づくり
関連する個別計画					
目的	福浦海浜プールの廃止に伴い、東台福浦小学校プールを地域の子供達に開放するもの。				
対象	中学生以下の子ども				
内容	東台福浦小学校プールを夏休みの一定期間(平成22年度からは9日間)地域の子供達に開放するもの。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
コスト	事業費	547,960	663,818	727,000		
	人件費	常勤職員	215,000	204,307	200,970	
		非常勤職員等				
		人件費合計	215,000	204,307	200,970	
	総事業費	762,960	868,125	927,970		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	762,960	868,125	927,970		
財源合計	762,960	868,125	927,970			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
施設の開放日数	ニーズに合わせた開放期間	日	9	9	9	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
施設の入場者数	利用者数把握	人	214	255	300	

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 廃止された福浦海浜プールの代替施設の役割を担う必要性がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	C 平成27年度において、人件費を除いた開放日1日当たりの事業費が73,757円、入場者1人当たりの事業費が2,603円かかっている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B 多くの東台福浦小学校児童が利用していることから、廃止された福浦海浜プールの代替施設の役割を果たしていると思われる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 中学生以下の者は全員入場可能であり、幼児の同行であれば大人でも入場が可能である。

平成27年度までの改善点	なし
--------------	----

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	なし
平成29年度以降の方向性	地域のニーズに合わせた開放日数の調整を行っていきたい。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	今後、入場者数増加のための検討が必要と思われる。
------	----------	--------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	931	担当課等	社会教育課								
事務事業名	スポーツ推進委員ユニフォーム補充事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	08	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P133 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	5 スポーツ	(2) スポーツ活動の支 援	(1) スポーツ活動の支援
関連する個別計画					
目的	スポーツ推進委員が長期間使用したユニフォーム(ジャージ等)を更新し、委員の活動意欲を高めるもの。				
対象	湯河原町スポーツ推進委員				
内容	スポーツ推進委員が着用するユニフォーム(ジャージ等)を購入する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
コスト	事業費	72,000		439,000		
	人件費	常勤職員	17,030		15,918	
		非常勤職員等				
		人件費合計	17,030	0	15,918	
	総事業費	89,030	0	454,918		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	89,030	0	454,918		
財源合計	89,030	0	454,918			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
スポーツ推進委員数	対象者数	人	21	0	17	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
ユニフォーム購入数	必要数	着	22	0	21	

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A スポーツ推進委員は教育委員会が委嘱することから、活動のユニフォームとして使用するジャージは町が購入すべきである。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A 統一のユニフォームを着用することにより委員の活動意欲、委員としての自覚及び協調性が高められる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A スポーツ推進委員全員にユニフォームを貸与した。ユニフォームのブランド、デザイン等をスポーツ推進委員自らで選択したことにより、委員の満足感を得られた。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A スポーツ推進委員全員にユニフォームを貸与した。

平成27年度までの改善点	平成20年度にジャージ類を購入し、平成20年度以降、委員の増員に伴い5着購入、平成26年にはブルゾンを購入した。
--------------	--

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	なし
平成29年度以降の方向性	定期的に新しいユニフォームを購入する。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	委員の変更や、ユニフォーム使用に係る損傷など補充の時期なども考慮し、更新を図ること。
------	----	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	完了
------	----

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月22日作成

事業番号	449	担当課等	社会教育課(図書館)									
事務事業名	ブックスタート・セカンドブック推進事業											
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	03	事業開始年度	平成	15	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P131 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	4 生涯学習	(3) 図書館施設・運営 の充実	(4) 子どもたちに対する サービスの推進
関連する個別計画					
目的	図書と親しむきっかけを作り、学齢期の読書活動の基礎となる「家庭での読書」を定着させる。				
対象	・4か月乳児及びその保護者(ブックスタート) ・小学校1年生及びその保護者(セカンドブック)				
内容	ブックスタートでは、4か月児健康診査において、絵本の配布及び絵本の読み聞かせ等を実施している。 セカンドブックでは、小学校入学時に、各児童が希望した図書を学校長が直接手渡し、また、ボランティアによる読み聞かせ等を実施している。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成26年度(決算)		平成27年度(決算)		平成28年度(見込)	
	事業費	395,183	324,987	349,000		
コスト 人件費	常勤職員	315,092	291,312	246,760		
	非常勤職員等					
	人件費合計	315,092	291,312	246,760		
総事業費	710,275	616,299	595,760			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	710,275	616,299	595,760		
財源合計	710,275	616,299	595,760			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
ブックスタート配布率	配布者数/対象者数	%	100	100	100	
セカンドブック配布率	配布者数/対象者数	%	100	100	100	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
児童図書貸出点数(年間)	児童図書の利用状況	点	32,273	33,235	34,000	

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 4か月児健康診査及び小学校入学の対象者は行政機関しか収集できない情報であるため、町が実施すべきと考える。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B 少子化や活字離れ等の傾向が見られる中、平成26年度は児童図書の貸出点数は減少したが、平成27年度は増加に転じた。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B 図書を親しむきっかけを作ることはできたが、学齢期の読書活動の基礎となる家庭での読書が継続的に行われるまでには至っていない。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 4か月児健康診査及び小学校入学について、事業主管課と連携し、対象者を把握した上で実施した。他市町村小学校からの転入児童(1年生)にも転入後に配布している。

平成27年度までの改善点	読み聞かせや配布図書の準備等におけるボランティアの積極的な活用により、人件費を抑制した。
--------------	--

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	家庭での読書が継続的に行われるよう、セカンドブック事業において、読んだ図書の書名等を記録する「読書手帖」を配布した。また、読書手帖等への読書記録を支援するため、図書館で借りた図書の書名等をシールに印字し配布する取り組みを継続する。
平成29年度以降の方向性	乳児期から図書に親しみ、また、学齢が進んでも、成長にあった読書の楽しさを実感できる環境を整えるため、事業を継続していく。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	乳児期から図書に親しみ、また、学齢が進んでも、成長にあった読書の楽しさを実感できる環境を整えていく。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月22日作成

事業番号	1132	担当課等	社会教育課(図書館)							
事務事業名	子ども読書活動推進事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	03	事業開始年度	平成 17 年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P131 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	4 生涯学習	(3) 図書館施設・運営 の充実	(4) 子どもたちに対する サービスの推進
関連する個別計画	第二次湯河原町子ども読書活動推進計画				
目的	第二次湯河原町子ども読書活動推進計画(計画期間:平成24年4月～平成29年3月)に基づき、子どもの読書活動を総合的に推進する。				
対象	おおむね0歳から18歳まで				
内容	ブックリストや読書手帳の配布、子ども読書まつりの開催により、子供が読書に親しむための機会の提供と環境づくり等を行う。また、計画期間の最終年度を迎えた推進計画について、新たに第三次湯河原町子ども書活動推進計画を策定する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成26年度(決算)		平成27年度(決算)		平成28年度(見込)	
	事業費	62,523	322,948	143,000		
コスト 人件費	常勤職員	151,159	192,185	431,830		
	非常勤職員等					
	人件費合計	151,159	192,185	431,830		
総事業費	213,682	515,133	574,830			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	213,682	515,133	574,830		
財源合計	213,682	515,133	574,830			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
子ども読書まつり参加人数	主な取り組みであるため	人	43	49	60	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
児童図書貸出点数(年間)	児童図書の利用状況	点	32,273	33,235	34,000	

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 湯河原町全体における子供の読書活動を推進することを目的としていることから、町が実施すべきと考える。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B 子ども読書まつりについて、ボランティアや学校などの協力を得て実施しているが、より多くの子供達の参加が望まれる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B 年齢が上がるにつれて読書離れが進む傾向にあり、子供自身による一人読みへとつなげていく取り組みが必要と考える。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B 町内の保育園・幼稚園、小・中学校及び図書館等において、ブックリストの配布や絵本の読み聞かせ等を実施しているが、高校生に対する読書推進は十分とはいえない状況である。

平成27年度までの改善点	年齢別のおすすめ本リスト「うちどくブックガイド」について、掲載図書を見直し、また、紹介文を追加する等、より配布効果のある内容に改訂し、町内の保育園・幼稚園の全園児、小・中学校の全児童・生徒に配布した。
--------------	--

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	「うちどくブックガイド(改訂版)」について、様々な機会をとらえて、掲載された図書を子ども達に紹介する。また、読み終わった図書については、ブックガイドへスタンプを押す等、読書意欲を高めるための工夫を行い、子ども自身による一人読みへとつなげていく。
平成29年度以降の方向性	第三次湯河原町子ども読書活動推進計画に基づき、子どもの読書活動を総合的に推進する。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	生涯学習、人間形成にも係る事柄のため、今後も読書活動を押し進めていく。
------	----------	-------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--